





第1問 運動領域及び競技の用語に関して、次の1～7の問いに答えなさい。

- 1 次の表は、器械運動におけるマット運動の技の例を示したものである。表中の( )に該当する技の名称を、下のa～eから一つ選びなさい。

系	技群	グループ	基本的な技 (主に中1・2で例示)	発展技
回転系	ほん転	倒立回転・ 倒立回転跳び	側方倒立回転 →  ( ) →	側方倒立回転跳び1/4ひねり(ロングダート) 前方倒立回転 → 前方倒立回転跳び
		はねおき	頭はねおき	

- a 後転倒立  
b 補助倒立  
c 倒立ブリッジ  
d 頭倒立  
e 倒立

- 2 バasketボールにおいて、味方を壁にして、自分の防御者の動きを止める攻撃方法の名称を、次のa～eから一つ選びなさい。

- a ポストプレイ                      b ターンオーバー                      c バイオレーション  
d カットインプレイ                      e スクリーンプレイ

- 3 ソフトボールにおいて、投手の投球と同時に走者が次塁へスタートを始め、それに合わせて打者がその投球をすかさず打つ戦術の名称を、次のa～eから一つ選びなさい。

- a タッチアップ                      b セーフティバント                      c 送りバント  
d ヒットエンドラン                      e 犠牲フライ

- 4 バレーボールにおいて、スパイカーがセッターの後ろ1m程度の距離からバックトスで、スパイクするクイック攻撃の名称を、次のa～eから一つ選びなさい。

- a Aクイック                      b Bクイック                      c Cクイック  
d Dクイック                      e セミクイック



第2問 競技に関するルールについて、次の1～8の問いに答えなさい。

1 次の文は、陸上競技の「トラック競技」に関する基本的なルールについて述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 短距離走・中距離走では、「位置について (on your marks)」「用意 (set)」の合図のあと、ピストルの出発合図でスタートする。
- b 1回でも「最終の用意の姿勢をとった後、信号器の発射音を聞くまでにスタート動作を開始」した競技者は失格となる。
- c リレー競走では、バトンの受け渡しは20mのテークオーバーゾーン内で完成させなければならない。次の走者はその手前10m以内の地点からスタートをしてもよい。
- d リレー競走では、バトンを落としたときは、その走者がひろって継続しなければならない。この場合は自分のレーンから離れてもよい。
- e ハードル走では、ハードルを越える瞬間に、足または脚がハードルをはみ出て（どちら側でも）バーの高さより低い位置を通ったとき失格となる。

2 次の文は、陸上競技の「フィールド競技」に関する基本的なルールについて述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 走り幅跳びでは競技者が跳躍しないで走り抜けたり、跳躍の際に身体のどこかが踏み切り線の先の地面に触れたりした時は、無効試技となる。
- b 走り幅跳びの着地の際、砂に残った最も近い痕跡よりも踏み切り線に近い砂場の外の境界線または、地面に触れた時は、無効試技となる。
- c 走り幅跳びでは、平均秒速1.5mを超える風が跳躍方向へ吹いていたと測定された場合、記録は公認されない。
- d 走り高跳びでは競技者は片足で踏み切らなければならない。
- e 走り高跳びでは跳び越える時、競技者には関係のない力（例えば突風）によってバーがバー止から外れた場合は、競技者がバーに触れないで跳び越えた後であれば、その試技は成功とする。

3 次の文は、水泳のルールのうち平泳ぎのルールについて述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a つねにうつぶせで泳がなければならない。
- b 両手は一緒に胸の位置から前方へ揃えて伸ばして、水をかかなければならない。
- c 泳ぎのサイクルは1かきと1蹴りの組み合わせでおこなわなければならない。この動作中に頭の一部が水面上に出なければならない。
- d 両脚の動作は、同時に、左右対称でなければならない。交互に動かしてはならない。
- e 両足のけりは、後方の内側に向かわなければならない。

4 次の文は、ソフトテニスのサービスに関するルール（ダブルス）について述べたものである。正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a サービスは2回打つことができ、第1サービスを失敗したときは第2サービスができる。
- b ゲーム開始のサービスは、センターマークの左側から対角の相手側サービスコートに入れる。その後は、1ポイントごとに交互に位置を替える。
- c パートナー同士が2点ずつ交互におこない、同一ゲーム中はサービスの順番を変えることはできない。
- d サービス時、サーバーのパートナーは自分のコート上ならどこにいてもよい。
- e ネットやネットポスト（支柱）にふれてサービスコートに入った場合は、サービスをやり直す（レット）。

5 次の文は、卓球のルールのうち、レット（プレイのやり直し）となる場合について述べたものである。正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a サービスやレシーブの順序、エンドの誤りが発見された。
- b レシーブ側コートにワンバウンドした後に、ボールが相手の体に当たった。
- c 主審のコール前にサービスをした。
- d レシーバーが用意する前にサービスをした。
- e 他のボールでプレイが妨害された。

6 次の文は、サッカーの基本的なルールについて述べたものである。正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 直接フリーキックに相当する反則を、自陣のペナルティエリア内で行った場合、相手側のペナルティキックとなる。
- b 主審が危険と判断するプレイを選手がした時、直接フリーキックとなる。
- c ボールが、攻撃側のプレイヤーに最後に触れてゴールラインを完全に越えて外に出たとき（ただしゴール内はゴールインである）、ゴールキックとなる。
- d ボールが、防御側のプレイヤーに最後に触れてゴールラインを完全に越えて外に出たとき（ただしゴール内はゴールインである）、コーナーキックとなる。
- e スローインを行う際、異なる地点から行うと違反となり、相手側のスローインとなる。

7 次の文は、ハンドボールの基本的なルールについて述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 攻撃側プレイヤーの明らかな得点チャンスを、相手チームのプレイヤーが反則して妨害した場合は、7mスローとなる。
- b パッシブプレイ（消極的な攻撃）は、相手方のフリースローとなる。
- c ボールがサイドラインからコート外に出たとき、ボールを出した反対側のチームがスローインを行う。
- d スローインする際には、ボールが出た地点のサイドラインから実施するが、ラインを踏んではいけない。
- e ゴールキーパー、または攻撃側プレイヤーに触れて、アウターゴールラインを越えてボールが出たとき、ゴールキーパーズスローとなる。

8 次の文は、剣道の基本的なルールについて述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 1回でも相手の足を払ったり、相手の竹刀を握ったりすると反則負けとなる。
- b 相手が竹刀を落した直後の打突は有効打突となる。
- c 自分の剣先が相手を制している場合、打突は無効となる。
- d 充実した氣勢、適正な姿勢をもって、自分の竹刀の打突部で、相手の打突部位を刃すじ正しく打突し、残心あるものが有効打突となる。
- e 打突部位は、面部、小手部、胴部、突部（中学生以下は禁止）である。

第3問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 運動技能のポイントについて、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、水泳における「バタフライ」の技能ポイントについて述べたものである。内容として適切でないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 脚のけり下ろし動作は、腰、膝を柔らかく伸ばした脚を、太ももから徐々に足先に力が加わるように力強く打ち、その反動で腰を水面近くに近づける。
- b 脚でけり終わった後、上方へ戻す動作は、水面に近づけた腰を沈めながら伸ばし、その反動で脚を伸ばして戻す。
- c 腕の動作は、入水後、腕を伸ばし、手のひらを平らにして水を押さえながら横に開き出し、腕を曲げ始める。
- d 手のひらと前腕で水をかき、左右の手先は胸の下で大きく離れるようにして、太ももに触れるまでかき進める。
- e 両腕のかき始めからかき終わりにかけて呼気し、両腕を水面上に抜き上げる動作から、肩の横に戻すまでの間に吸気する。

(2) 次の文は、バスケットボールにおける「ランニングシュート（レイアップ）」の技能ポイントについて述べたものである。内容として適切でないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 空中でボールをキャッチしたあと、1歩目は大きくとる。
- b 目をゴールに向けて上体を起こす。
- c 2歩目は1歩目よりさらに大きく踏み出す。
- d 膝を高く引き上げて、思い切りジャンプする。
- e リングにそっと置くようにシュートする。

(3) 次の文は、バドミントンにおける「オーバーヘッドストロークからのショット（スマッシュ）」の技能ポイントについて述べたものである。内容として適切でないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a ネットに対して半身（90度）に構える。
- b 後ろ足に体重を乗せる。
- c 肩→肘→手首→ラケットの順に正面に戻す。
- d 打点はほぼ頭の上で、インパクトのときのラケット面は、やや上向きになる。
- e 打球後、前腕を内側にひねる。



- (4) 次の文は、剣道のしかけ技の「小手－面」の技能ポイントについて述べたものである。内容として適切でないものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。

エ

- a 小手を打つ際は、相手の右小手を打つ。
- b 小手を打った後は、素早く左足を引きつける。
- c 相手が手元を下げて小手打ちを防いだら、即座に面を打つ。
- d 面を打つ際は、左足で踏み込む。
- e 面を打つ際は、自分の竹刀の物打で相手の面部を打つ。

- 2 体育理論について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、スポーツの文化的特性について述べたものである。文中の(①)～(⑤)に該当する最も適切な語句の組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。 オ

「走る」「跳ぶ」などといった一連の運動は動物にもみられます。しかし、私たち人間は、このような素朴な運動に対して、それぞれの(①)の中で望ましいと思われる明確な(②)や考え方にもとづき目標を与え、ある一定の(③)や条件のもとで競争する運動の工夫としてスポーツの文化を考え出しました。そして、これらの目標や条件のもとで、もっとも合理的な行動の型(パターン)として技術や(④)を生み出したのです。また、それを支える施設や(⑤)なども工夫し、発展させてきました。

- |   |      |      |       |      |      |
|---|------|------|-------|------|------|
| a | ① 社会 | ② 思想 | ③ ルール | ④ 戦術 | ⑤ 用具 |
| b | ① 社会 | ② 倫理 | ③ 規範  | ④ 戦術 | ⑤ 用具 |
| c | ① 集団 | ② 倫理 | ③ ルール | ④ 戦略 | ⑤ 環境 |
| d | ① 社会 | ② 倫理 | ③ ルール | ④ 戦略 | ⑤ 用具 |
| e | ① 集団 | ② 思想 | ③ 規範  | ④ 戦略 | ⑤ 環境 |

- (2) 次の文は、運動やスポーツの効果的な学習の仕方について述べたものである。文中の ( ① ) ~ ( ⑤ ) に該当する最も適切な語句の組み合わせを、下の a ~ e から一つ選びなさい。 カ

陸上競技、水泳、器械運動などでは、( ① ) する相手から直接影響を受けることが少なく、解決すべき課題やそれに対応する技術は大きく変化しません。このように安定した環境の中で用いられる技術を ( ② ) といいます。( ② ) の練習では、速さ、正確さ、安定性、効率性などを目標にして同じ ( ③ ) で繰り返し練習することが大切です。球技や武道などのように、たえず ( ④ ) する状況のなかで用いられる技術を ( ⑤ ) といいます。( ⑤ ) の練習では、( ④ ) する状況の中で解決すべき課題を設定して練習することが大切です。

- |   |            |            |      |      |
|---|------------|------------|------|------|
| a | ① 変化       | ② オープンスキル  | ③ 環境 | ④ 競争 |
|   | ⑤ クローズドスキル |            |      |      |
| b | ① 競争       | ② クローズドスキル | ③ 条件 | ④ 変化 |
|   | ⑤ オープンスキル  |            |      |      |
| c | ① 競争       | ② オープンスキル  | ③ 環境 | ④ 変化 |
|   | ⑤ クローズドスキル |            |      |      |
| d | ① 変化       | ② オープンスキル  | ③ 条件 | ④ 競争 |
|   | ⑤ クローズドスキル |            |      |      |
| e | ① 変化       | ② クローズドスキル | ③ 環境 | ④ 競争 |
|   | ⑤ オープンスキル  |            |      |      |

- (3) 次の文は、オリンピック・パラリンピックについて述べたものである。正しくないものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。 キ

- a たがいに重なり合う5つの輪で表される「オリンピック・シンボル」は、世界の5つの大陸の団結と世界の人々が集うことを表している。
- b パラリンピックは、夏季大会と冬季大会があり、それぞれ4年に1度、オリンピック終了後にオリンピック開催都市で行われている。
- c パラリンピックは、現在では、競技性の高いスポーツ大会へと発展し、「もう一つの (Parallel) + オリンピック (Olympic)」と呼ばれるようになっている。
- d 1964年のオリンピック東京大会が終わった後に、車椅子競技大会が開催された。この大会を「Paraplegia (脊髄障害による下半身麻痺者)」のオリンピックとして「パラリンピック」と名付けた。
- e オリンピックに女性が参加したのは、1900年の第2回パリ大会からである。日本の女性がオリンピックに参加したのは、1932年ロサンゼルス大会からである。

第4問 保健について、次の1～5の問いに答えなさい。

1 次の文は、妊娠・出産について述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 卵管で受精した卵子（受精卵）は細胞分裂を繰り返しながら子宮へ運ばれ、およそ1週間で子宮内膜に付着して、胎盤をつくり始める（着床）。
- b 妊娠が確認できるころには、すでに胎児の脳や心臓など各器官の形成が始まっており、この時期の母体の健康を守ることは、胎児の成長にとっても大切である。
- c 母体は、胎盤とへその緒を通じて胎児の生存・成長に必要な酸素や栄養分を送り、二酸化炭素や老廃物を受け取っている。
- d 出産が近づくと陣痛が始まり、妊婦が陣痛にあわせて腹圧をかけると、胎児はその圧力により膣（産道）を通して母体の外に押し出される（出産）。
- e 出産後は、6～8か月かかって、子宮をはじめ変化していた母体の機能が回復していき、やがて排卵も月経も始まる。

2 次の文は、応急手当について述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 呼吸がない場合や、呼吸の有無がはっきりしない場合は、ただちに人工呼吸を行う。
- b 出血をしている場合には、通常、ガーゼなどを傷口にあてて圧迫する直接圧迫法を行う。
- c 骨折の疑いがある場合は、骨折部が動かないよう固定する。
- d 捻挫や打撲の手当は、安静、冷却、圧迫、挙上を基本に進める。
- e 熱中症が疑われる場合は、休息、冷却、水分補給が基本となる。

3 次の文は、薬物乱用について述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 薬物乱用とは、違法な薬物を使用したり、医薬品などを本来の目的から外れて使用したりすることをいう。
- b 乱用される薬物は、脳に作用し、脳を異常に興奮させたり抑制したりするため心身に大きな害をもたらす。
- c 1回だけの薬物使用では、呼吸困難やけいれん発作が発生する程度で、死に至ることはなく、長期の使用が問題となる。
- d 薬物乱用者は、幻覚や妄想から身近な人たちに暴力をふるったり、薬物を手に入れるために盗みを働いたりすることもある。
- e 薬物の使用をやめていても強いストレスなどにより、幻覚など乱用時と同じ症状が出る場合がある（フラッシュバック）。

4 次の文は、食品の安全について述べたものである。正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 生産過程では、飼料の安全性の確保や農薬の使用規制などが求められる。
- b 製造・加工過程では、容器・包装などの安全性や食品添加物の規制が求められる。
- c 保存・流通過程では、食品汚染への対策や品質の衛生管理が求められる。
- d 保健所の環境衛生監視員が、食品工場や飲食店などの監視・指導を行っている。
- e 食品衛生法により、原材料、消費期限または賞味期限、保存方法等の表示が義務付けられている。

5 次の文は、健康増進法について述べたものである。正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 「健康日本21」を支える法律として2011年に制定された。
- b 国民の健康づくりや病気予防をさらに積極的に推進することが目的である。
- c 国民の責務として、国民は健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、生涯にわたって、自らの健康状態を自覚するとともに、健康増進に努めなければならないことが示されている。
- d 都道府県、市町村は住民の健康増進計画を策定することを定めている。
- e 国民健康・栄養調査を実施することや受動喫煙を防止することを定めている。

(選択問題 中学校)

第5問 中学校学習指導要領（平成29年3月告示）「第2章 第7節 保健体育」について、次の1～5の問いに答えなさい。

1 次の文は、「第1 目標」である。文中の  ,  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かな  を実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に  力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

- a 人間関係                      b スポーツライフ      c フレンドシップ  
d コミュニティーライフ      e 家族関係

- a 向かう      b 交渉する      c 理解される      d 問いかける      e 伝える

2 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔体育分野 第1学年及び第2学年〕 2 内容 C 陸上競技 (1)」である。文中の  ,  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

(1) 次の運動について、記録の向上や  の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けること。

ア 短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせることを、長距離走では、ペースを守って走ること、ハードル走では、 走りから滑らかにハードルを越すこと。

イ 走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、 助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶこと。

a 勝敗    b 競技    c 競争    d 挑戦    e 種目

a 小さな    b イメージした    c バランスのよい    d リズミカルな  
e ゆったりとした

3 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔体育分野 第3学年〕 2 内容 F 武道 (3)」である。 ,  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

(3) 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事、 を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた  を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保すること。

a 自己の役割    b フェアなプレイ    c 自己の責任    d 仲間との協働  
e 礼の遵守

a 課題や挑戦    b 役割や取組    c 作戦や戦術    d 興味や関心  
e 練習法や試合法

- 4 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔保健分野〕 3 内容の取扱い (11)」である。文中の  ,  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

保健分野の指導に際しては、 の健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する学習活動を取り入れるなどの指導方法の  を行うものとする。

- a 自分      b 他人      c 自他      d 周囲      e 学級

- a 実習      b 工夫      c 実践      d 研究      e 演習

- 5 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1 (1)」である。文中の  ,  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、体育や保健の  を働かせながら、運動や健康についての  を発見し、その合理的な解決のための活動の充実を図ること。また、運動の楽しさや喜びを味わったり、健康の大切さを実感したりすることができるよう留意すること。

- a 指導の仕方      b 教え方・学び方      c 行い方・学び方  
d 見方・考え方      e 伝え方・習い方

- a 各自の課題      b 自己やグループでの課題      c 他者の課題  
d 自己の課題      e 自他の課題

(選択問題 高等学校)

第5問 高等学校学習指導要領（平成21年3月）「第2章 第6節 保健体育」について、次の1～5の問いに答えなさい。

1 次の文は、「第2款 各科目 第1 体育 1 目標」である。文中の  ,  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

運動の合理的、 な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かな  を継続する資質や能力を育てる。

a 継続的      b 戦略的      c 実際の      d 探求的      e 計画的

a 交友関係      b コミュニティーライフ      c スポーツライフ  
d 人間関係      e ライフプラン

2 次の (1)・(2) の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、「第2款 各科目 第1 体育 2 内容 B 器械運動 (1) アイ」である。文中の ( ① ) ～ ( ④ ) に該当する語句の組み合わせを、下の a～e から一つ選びなさい。

ア マット運動では、( ① ) や ( ② ) の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。

イ 鉄棒運動では、( ③ ) や ( ④ ) の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。

a ① 回転系      ② 巧技系      ③ 支持系      ④ 懸垂系  
b ① 回転系      ② 支持系      ③ 巧技系      ④ 懸垂系  
c ① 回転系      ② 体操系      ③ 支持系      ④ 懸垂系  
d ① 巧技系      ② 体操系      ③ 支持系      ④ 回転系  
e ① 巧技系      ② 支持系      ③ 体操系      ④ 回転系



(2) 次の文は、「第2款 各科目 第1 体育 2 内容 B 器械運動 (1) ウエ」である。文中の ( ① ) ~ ( ④ ) に該当する語句の組み合わせを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

ウ 平均台運動では、( ① ) や ( ② ) の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと。

エ 跳び箱運動では、( ③ ) や ( ④ ) の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと。

- |   |       |         |         |         |
|---|-------|---------|---------|---------|
| a | ① 支持系 | ② バランス系 | ③ 体操系   | ④ 回転系   |
| b | ① 体操系 | ② 回転系   | ③ 支持系   | ④ バランス系 |
| c | ① 体操系 | ② バランス系 | ③ 支持系   | ④ 回転系   |
| d | ① 体操系 | ② バランス系 | ③ 切り返し系 | ④ 回転系   |
| e | ① 支持系 | ② 回転系   | ③ 体操系   | ④ バランス系 |

3 次の文は、「第2款 各科目 第1 体育 2 内容 F 武道 (1) アイ」である。、に該当する語句を、それぞれ下の a ~ e から一つずつ選びなさい。

ア 柔道では、相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連絡技・を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防を展開すること。

イ 剣道では、相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技を用いて、相手の構えを崩し、素早くしかけたりするなどの攻防を展開すること。

- a 基本となる技    b 変化技    c 返し技    d 捨身技    e 固め技

- a 合わせたり    b 連続して打ったり    c 応じたり    d 攻めたり  
e 返したり

- 4 次の文は、「第2款 各科目 第1 体育 3 内容の取扱い (2) キ」である。  
, に該当する語句を、それぞれ下のa～eから一つずつ選びなさい。

キ 「Gダンス」の(1)の運動については、アからウまでの中から選択して履修できるようにすること。なお、のに応じて、社交ダンスなどのその他のダンスについても履修させることができること。

- a 施設や用具      b 教員の専門性      c 予算や環境      d 生徒の能力  
e 地域や学校

- a 条件                      b 実態                      c 要望                      d 有無  
e 適否

- 5 次の文は、「第2款 各科目 第2 保健 2 内容 (2) 生涯を通じる健康 イ」の部分である。文中の, に該当する語句を、それぞれ下のa～eから一つずつ選びなさい。

イ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関

生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などをに活用することが重要であること。

また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること。

- a 適切      b 有効      c 積極的      d 頻繁      e 効果的

- a 使用      b 活用      c 利用      d 取り扱い      e 販売



